

## 2021年度事業報告

自 2021年 4月 1日

至 2022年 3月31日

前年度に引き続き、2021年度は度重なる緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の延長のため、大きく制約を受けての事業運営となりました。しかしながら、この厳しい状況下でありながらも、昭和22年（1947年）3月に設立された一般財団法人印刷図書館は、令和4年（2022年）3月に75周年を迎えることができました。それもひとえに、「印刷文化に貢献する」という当財団の目的に賛同してくださる関連機関・関連会社、維持会員の皆様のお陰です。

今年度も感染予防対策に努めながら、2021年度「事業計画」に基づき、一般財団法人としての公益性を踏まえつつ、専門図書館として一般利用者への蔵書の紹介・検索、情報の提供を行うとともに、各事業の積極的な推進に努めました。

本年度の各事業の実施状況を報告するに当たり、下記のとおり、印刷図書館の事業体系に沿ってご報告いたします。

### 印刷図書館の事業体系

- 【公益目的事業】**
1. 図書館運営事業
    - (1) 専門図書館としての一般公開及びサービス
    - (2) 図書・資料の収集、整理
    - (3) 利用者への蔵書の紹介・検索、情報の提供
    - (4) 関連機関との相互協力
  2. 広報活動及びデータベース、ホームページ管理事業
    - (1) 受入れ資料のデータベース化
    - (2) インターネットへの蔵書データの更新
    - (3) ホームページを通しての新刊情報の紹介
    - (4) ホームページを通しての財団活動報告等
    - (5) 「印刷図書館コレクション」を利用した周知活動
- 【その他事業】** 所蔵する印刷文化財の貸出等
- 【重点テーマ】**
1. 専門図書館としての資料保存環境の整備の継続的推進
  2. 資料保存中期計画
  3. 図書館と関連機関との連携強化
- 【運営管理業務】** 理事会及び定時評議員会の開催

# 事業報告

## 【公益目的事業】

### 1. 図書館運営事業

#### (1) 専門図書館としての一般公開及びサービス

##### ① 利用状況

当図書館の利用にあたっては、会費を納めている法人(維持会員)は無料、それ以外は、一般利用600円、学生200円としている。

利用者の多くが印刷業界並びに関連業界であるが、一般利用者の特徴として、シンクタンクやコンサルティングサービス会社による印刷業界の動向及びデータ収集の利用が多い。

前年度に引き続き、2021年度も時間を短縮しての開館となった。2020年度より利用者は増加しているものの、度重なる緊急事態宣言などの延長により、開館日数は2020年度より1割近く減少している。個別にみると、2021年度の一般利用客は75名であり、前年度プラス約34%となっているが、維持会員はマイナス15%と減少している。総合的には1.04倍と微増となったが、コロナ禍前と比較すると、利用者数は過去最低水準のままとなった。詳しい内訳は表1のとおりである。

また、2021年度における新型コロナウイルスによる行政要請を受けての印刷図書館の対応は表2のとおりである。

(表1 印刷図書館利用者内訳 単位：名)

維持会員	一般	学生	合計
95	75	12	182

(表2 政府／東京都による発令時の印刷図書館の対応)

政府／東京都による発令	発令時の対応	開館時間
5月7日 (政府／緊急事態宣言)	5月10日～31日まで月水金のみ開館	10時～12時／1時～4時
5月28日 (政府／緊急事態宣言の延長)	6月1日～20日まで月水金のみ開館	10時～12時／1時～4時
7月9日 (政府／緊急事態宣言)	7月14日～8月22日まで月水金のみ開館	10時～12時／1時～4時
7月30日 (政府／緊急事態宣言の延長)	8月31日まで月水金のみ開館	10時～12時／1時～4時
8月17日 (政府／緊急事態宣言の延長)	8月23日～9月12日まで休館	
9月9日 (政府／緊急事態宣言の延長)	9月13日～30日まで月水金のみ開館	10時～12時／1時～4時
9月28日 (東京都リバウンド防止措置期間)	10月1日～31日まで月水金のみ開館	10時～12時／1時～4時
1月21日 (政府／まん延防止等重点措置)	1月25日～当面の間、月水金のみ開館	10時～12時／1時～4時
2月10日 (政府／まん延防止等重点措置の延長)	1月25日～当面の間月水金のみ開館	10時～12時／1時～4時
3月7日 (政府／まん延防止等重点措置の延長)	3月21日まで月水金のみ開館、以降は短縮を継続して通常再開	10時～12時／1時～4時

※通常の開館時間は9時30分～12時／1時～5時

## ② 閲覧分野

本年度、最も多く閲覧された分野は例年同様、印刷業界の分析資料だった。新聞・雑誌・機関誌・会報の閲覧も多く、業界分析資料と同時、もしくは最新動向調査での利用が多かったが、過去の掲載記事・広告の確認目的での利用もあり、過去から最新号まで、幅広い年代での利用がなされている。

また明治時代の書体見本等の貴重資料については、書体研究者等には実物を直に触れることができるため、好評であった。

2021年度における閲覧分野の大まかな内訳は次のとおりである。

(単位：件／複数回答)

市場分析 動向 統計	技術 経営 料 管理	資機材 (印刷機械、 紙、インキ等)	社史 組合史 歴史 人物伝	学会要旨 国内外論文	雑誌 新聞 機関誌 会報	明治 大正 昭和初期 史料	書体 活字	他 (叙勲・業界 イベント等)
63	22	11	11	4	64	13	14	4

### ③ 貸出業務及びコピーサービス

#### ア 貸出業務

貸出については維持会員のみを対象とし、2週間で5冊までとしているが、感染拡大予防対策のため、本年度も貸出しを休止した。

#### イ コピーサービス

コピー総数は、前年比36.3%プラスの1,588枚だった。そのうち約半数は、市場分析及び統計資料のコピーで全体の5割を占める。

本年度におけるコピーの利用状況及びパソコン利用は次のとおりである。

(単位：コピー／枚、PC／名)

コピー総数	白黒コピー枚数 (@50円)	カラーコピー枚数 (@100円)	私物PCへの入力 (@400円)
1,588枚	1,451枚	137枚	7名

### (2) 図書・資料の収集、整理

図書、資料の収集にあたっては、印刷関連の発行状況を常に把握し、積極的に関連団体や企業に問い合わせ、充実を図ったほか、バックナンバーの欠号補充にも努めた。

今年度における受入資料の総数は974点、区分の内訳は次のとおりである。

《 2021年度 受入資料の区分》

(単位：点)

区分	点数	資料紹介
プリプレス	6	「書体」が生まれるベントンと三省堂がひらいた文字デザイン、 タイポグラフィ学会誌 12 他
印刷技術	5	よくわかるプリンタブル・エレクトロニクスのできるまで 厚膜 印刷回路による部品実装技術
後加工	6	印刷・製本のアイデアも豊富！魅せるブックデザイン
印刷資材／印刷機械	6	機能紙研究会誌、2021 印刷機材年鑑
技術一般／料金／出版／法令 環境／経営	21	印刷業界の個人情報保護 GUIDE BOOK 2022 年版 改正法対 応 第7版
名簿／業界イベント／図録	15	和書ルネサンス 江戸・明治初期の本にみる伝統と革新、第 31 回シール・ラベルコンテスト 2021 作品集、各種名簿
市場分析、動向、統計	51	出版月報、ヤノ・レポート、印刷白書、日本のラベル市場
調査研究報告書	6	2020 年度印刷産業機械業界の SDGs 対応に関する調査研究報告 書（I）、プリンターに関する調査報告書（情産・21-情端・2）
研究論文、セミナー要旨	19	印刷学会主催の各種セミナー要旨
学会誌	22	印刷、画像、写真、メディア学会誌等
組合史・団体史・社史	14	日本包装技術協会 50 年史、山形県印刷工業組合 創立 50 周年 記念誌北越製紙百年史
その他歴史・印刷関連史	1	20 世紀印刷モノがたり
国内雑誌類	204	2 3 誌（月刊、隔月、季刊発行）
外国雑誌類	0	
業界新聞	300	1 0 紙（週刊、月 2、月 3 発行）
会報、機関誌等	295	6 3 誌（月刊、季刊、年刊発行）
その他	3	「革命の印刷術 ロシア構成主義 生産主義のグラフィック論」
合 計	974	

(3) 利用者への蔵書の紹介・検索、情報の提供

専門図書館である印刷図書館の利用者は、探す資料内容もかなり細くなるため、そのニーズに対応できるよう、資料は特集記事ならびに注目記事をデータベース化し、より詳細な資料情報の提供に努めた。

また、当館で該当資料が見つからなかった場合は、他の機関にも問い合わせをし、所蔵の有無を確認し対応した。

#### (4) 関連機関との相互協力

本年度は一般社団法人日本印刷産業連合会主催の「9月 印刷の月」記念式典において、出席者に配布する資料に印刷図書館のリーフレット同封や、関連機関の企画展示のチラシの配布協力など、業界団体や公的機関との連携・協力を積極的に取り組んだ。

## 2. 広報活動事業

当財団はホームページを通して広報活動を実施しており、蔵書データの更新、新刊情報の紹介、財団活動等をその都度発信し、広報活動に努めた。

2021年度のホームページのアクセス件数は次のとおりである。なお、前年度と比較するとアクセス総数は1.5倍となっている。また、本年度は重点テーマとして外部向けの広報活動の強化を掲げており、詳しい内容は該当項目に記載してある。特に、4月期が3倍になっているのは、全国カタログ展の受賞上位作品を期間限定で展示していたことが関係していると考えられる。

#### ・2020年度アクセス件数 (期間:2020年4月～2021年3月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
閲覧数	621	555	1010	723	538	990	820	676	701	637	596	881

#### ・2021年度アクセス件数 (期間:2021年4月～2022年3月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
閲覧数	2063	795	744	1870	776	839	895	768	723	830	699	1111

#### ・アクセスユーザーの比率 (期間:2020年4月～2021年3月)

新規ユーザー	リピーター
90.5%	9.5%

#### (1) 受入れ資料のデータベース化

今年度の受入れ資料974点すべてを、蔵書管理システムへデータベース化した。さらに、過去にデータ化されていなかった資料、230点をデータベースに登録した。入力事項は、基本の書誌データ(タイトル、発行元、発行年、体裁)以外に、特集記事も入力し蔵書管理に努めた。

#### (2) インターネットへの蔵書データの更新作業

入力したデータは、速やかにインターネットへデータ転送し、ホームページの[蔵書検索]機能の充実と、情報公開に努めた。

#### (3) ホームページを通しての新刊情報の紹介

受入れ資料のうち、定期刊行物以外の図書、報告書類については、ホームページの[新刊情報]に、表紙画像とともに主要目次を掲載し紹介した。

なお、今年度の掲載件数は昨年度より減少した35件だった。

#### (4) ホームページを通しての財団活動報告、その他

ホームページを通して2021年度の理事会及び定時評議員会に関する事業報告を掲載した。また、第62回全国カタログ展の受賞作品の期間限定展示の告知をした。

#### (5) 「印刷図書館コレクション」を活用した周知活動

これまでに芸術学部を持つ大学図書館や一般利用者が多い都内の中央図書館を中心に謹呈してきた。現在、次の謹呈先候補の調査を進めているが、いまだコロナ禍ということもあり、来館した関連機関・業界関係者に対しての配布に留まる結果となった。

### 3. その他事業

- ・所蔵する印刷文化財の貸出

『印刷雑誌』で連載中の松浦広氏の「近代日本印刷技術書探訪」にて、令和3年度12月号～令和4年度1月にかけて掲載された「最新石版印刷開業案内」の解説資料用に、ポスター『寿屋赤玉ポートワイン』（1922年）、『大阪商船太刀山』（1916年）のデジタル画像を提供した。

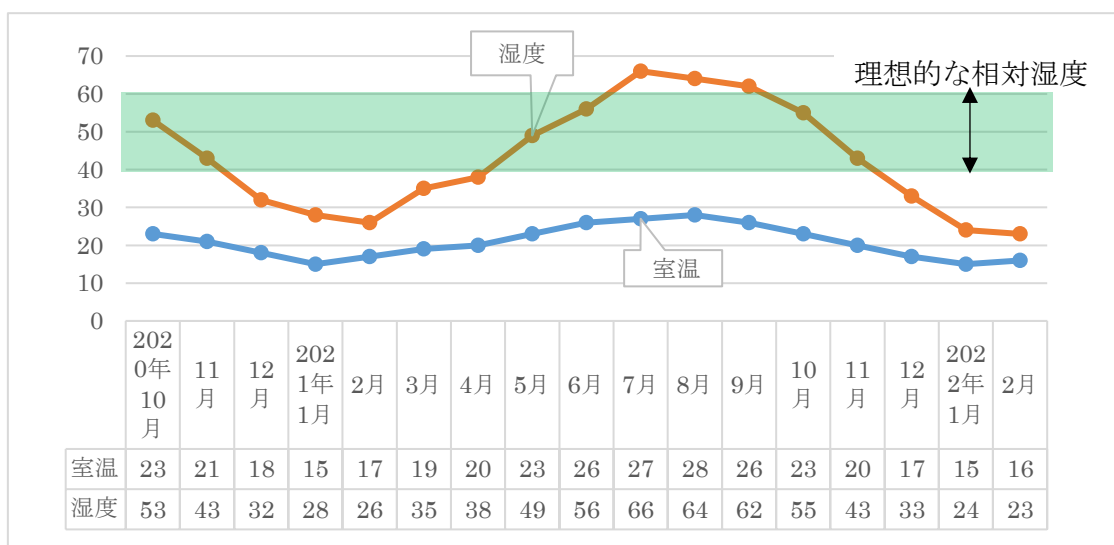
#### 《重点テーマ》

##### 1. 専門図書館としての資料保存環境の整備の継続的促進

2020年度に導入した温湿度計より、1ヶ月毎の館内（閲覧室側）温度・湿度の状態の調査を実行した結果、夏場（2021年6月～9月）の平均湿度は62%であり、一日毎の平均記録においては最高値で71%（7月）という日もあった。このことから、夏場は大変高湿度であり、書籍・文書の理想的な保管環境（摂氏温度18～22度、相対湿度40～60%）から逸脱していることが判明した。

この件より夏場冬場の湿度状況を専門業者に質問したところ、乾燥よりも湿度対策を重視するべきという見解を得た。また、2021年12月には書庫の資料にカビ被害が発生したこともあり、急遽資料を無酸素パック「モルデナイベ」にて隔離したが、3月には追加でカビ被害資料が見つかり、現在、専門業者を交え、対応中である。館内の詳しい温湿度については表3のとおりである。

（表3 館内（閲覧室側）の1ヶ月毎の平均温湿度）





## 2. 資料保存活動

資料保存活動として、前年度より持ち越しとなった資料の保存修復を本年度分と合わせて行った。対象となった資料は発行年代と貴重性、ならびに資料の保存状態より選定した『活版見本帳』（1877年）、『カトリコン（零葉）』（1460年）、『大日本植物志』（1900～1906、一卷一、二、三集の一組）の3点である。これら『印刷図書館コレクション』にも掲載してある貴重史料となっている。

### 《処置前》 『活版見本帳』



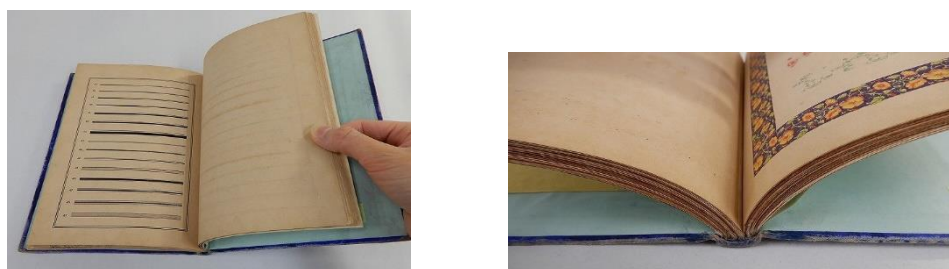
#### ●形態：クロス装丁本

※ヒンジ部が損傷し、表紙が外れかけている。

※綴じ糸が切れて、ページ外れ多数あり。

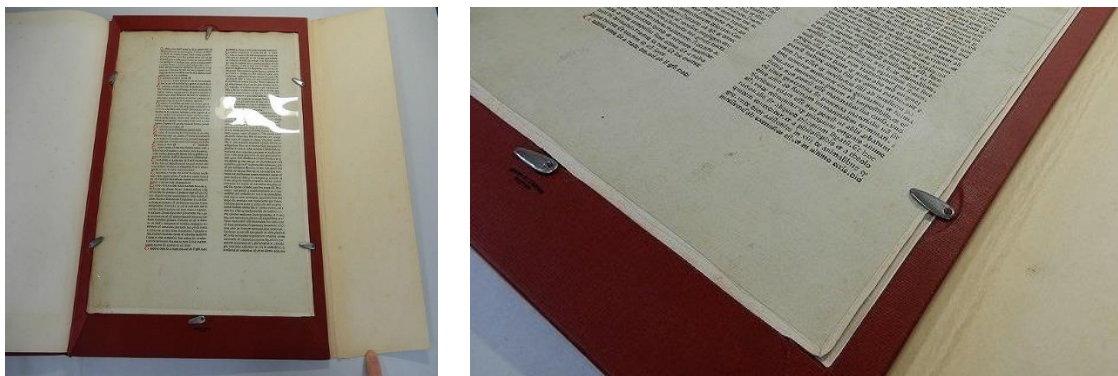
※背表紙の天地の損傷、紙力低下によるノド元の亀裂や周縁部の破れ、欠けあり。

### 《処置後》



※本紙を綴じ直し、表紙と再接合。損傷個所の補修をした。

## 《処置前》 『カトリコン』



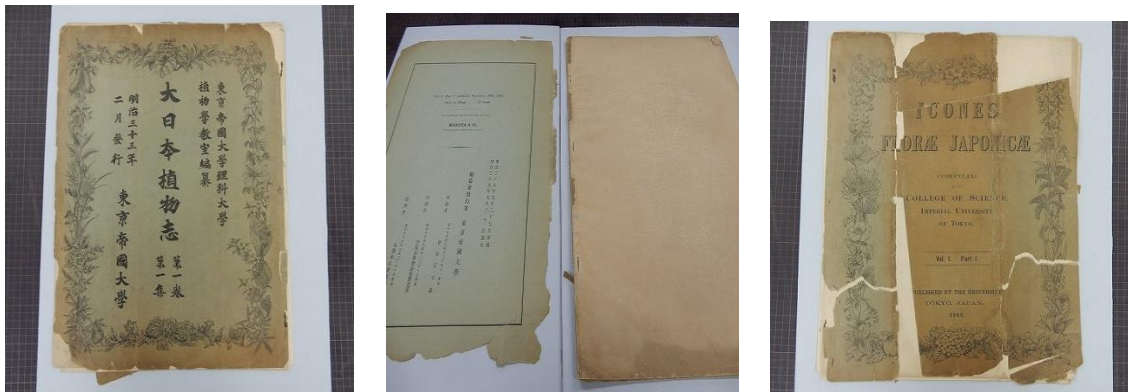
- 形態：クロス装丁本。ブックジャケット、スリップケース付きで、クロス装丁本の裏表紙内側にカトリコン（インキュナブラ）が収納されている。
- ※収納部位と表面保護シートはカトリコン（インキュナブラ）よりもやや小さく、周縁部がはみ出していた。
- ※金属製の留め具は腐食がみられ、表面保護シートも変色し、ゆがんでいる。

## 《処置後》



- ※カトリコン（インキュナブラ）は取り出し、専用のアーカイバル・クリアホルダーに収納。
- ※スリップケース、ジャケットの損傷箇所を補修。またスリップケースにはスペーサーを作成し、収納。カトリコン（インキュナブラ）収納部もピュアマットをはめ込み段差を無くし、アーカイバル・クリアホルダーに収納した状態で戻し、その後は保存箱にスリップケースとともに収納した。

《処置前》 『大日本書誌』第一巻 一集、二集、三集の三集一組



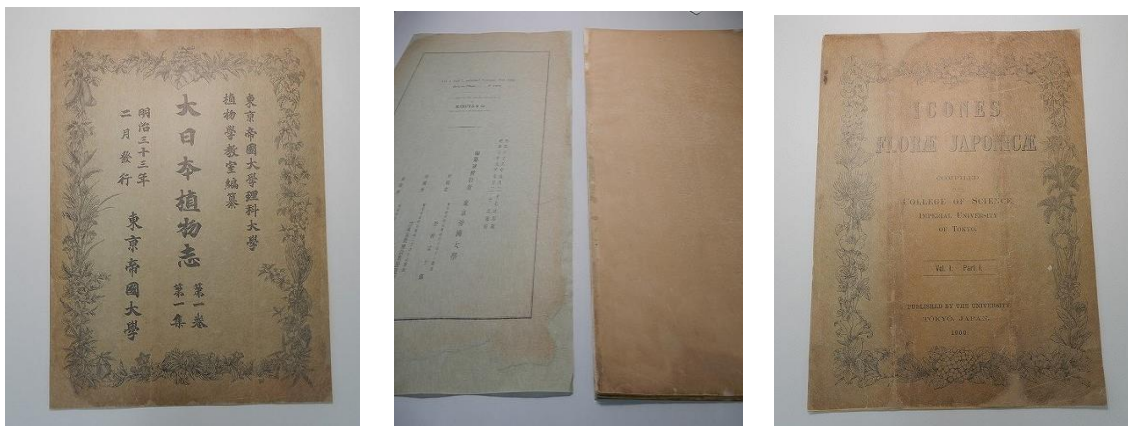
●形態：各集ごとに金属物で綴じられた冊子形態

※綴じの金属物は腐食し、表紙や本紙は外れかけている。

※表紙・裏表紙ともに紙力が低下しており、変色している。折り目や亀裂、破断、周縁部の破損や欠失あり。

※背表紙は欠失している。

《処置後》



※綴じの金属物は除去し、表紙、本紙、裏表紙の状態に。綴じ直しはせず、各集ごとに3F（無酸・無アルカリ・無サイズ）フォルダに収納。

※表紙、本紙、裏表紙はそれぞれ和紙とでんぷんを使用して補修。

### 3. 図書館の外部向け広報活動の強化

東京都印刷工業組合、公益社団法人日本印刷技術協会（JAGAT）に協力を依頼し、毎年4月に開催している新人研修セミナーにおいて、当館のリーフレット並びに招待券付き案内状を配布した。

また、4月19日～28日にかけて、期間限定で第62回全国カタログ展の受賞作品のうち、上位賞・特別賞・審査員特別賞を受賞した24作品を展示した。会期内は入館料を無料とし、全国カタログ展の受賞作品を目的とした来館者にも、図書館を利用できるようにした。

他にも、図書館総合展において、専門図書館紹介コーナーが再開したのに合わせ、参加した。2021年度の図書館総合展（開催期間11月1日～30日）はオンラインと小会場を設定してのハイブリッドでの開催で、来館型の小会場となった株式会社ブレインテック本社ショールームではパネル展示・パンフレットの配布、BICライブラリ・三康図書館ではパンフレットの配布が行われた。オンラインでは図書館総合展のホームページ内に専用のコーナーを設けて展示会という形式が取られた。会期後も図書館総合展のホームページで該当ページを閲覧でき、ブレインテックショールームも引き続きパネル展示が行われている。

### 4. 図書館と関連機関との連携強化

印刷図書館と印刷博物館間で、当館が著作権を持つ刊行物に対し、印刷博物館ライブラリーにて、利用者の求めに応じて資料の複製物を提供する旨を正式に許諾した。これにより当館の刊行物で、印刷博物館のみに所蔵されている資料を利用者に提供することが可能となり、図書館サービスの向上、ひいては印刷文化への貢献へとつながった。

また12月に第4回「印刷専門図書館交流会」を開催した。今回は新たにオープンした大日本印刷の「市谷の杜 本と活字館」の見学会を行い、職員による施設案内のもと、展示・活動内容を通じてそれぞれの立場の相互理解を深めると同時に、情報・意見交換を行った。

## 《運営管理業務》

### 理事会・定時評議員会の開催

2021年度における開催状況は、次のとおりである。

(1) 2021年度 定時評議員会 (Zoom 併用)

- ・開催日時 2021年6月16日 午後2時～2時25分
- ・開催場所 日本印刷会館202・203会議室
- ・出席者 評議員23名中21名  
理事16名中15名  
監事2名中2名
- ・決議事項 ・2020年度計算書類承認の件  
・理事1名選任の件 ・監事2名選任の件  
・評議員1名選任の件
- ・報告事項 2020年度事業報告の件

(2) 2021年度第1回 理事会 (書面決議による理事会)

- ・理事会の決議があったとみなされた日/2021年5月14日
- ・理事会決議があったとみなされた事項の内容
  - ・2020年度事業報告並びに決算の件
  - ・2021年度定時評議員会の開催日の件

(3) 2021年度 第2回 理事会 (Zoom 併用)

- ・開催日時 2022年3月16日 午後2時20分～2時30分
- ・開催場所 日本印刷会館202・203会議室
- ・出席者 理事16名中15名  
監事2名中2名
- ・決議事項 ・2022年度事業計画並びに予算の件

(付記) 事業報告に係る附属明細書について

事業報告に関して、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定されている附属明細書により、その内容を補足すべき重要な事項はないので附属明細書は作成していない。

以上